

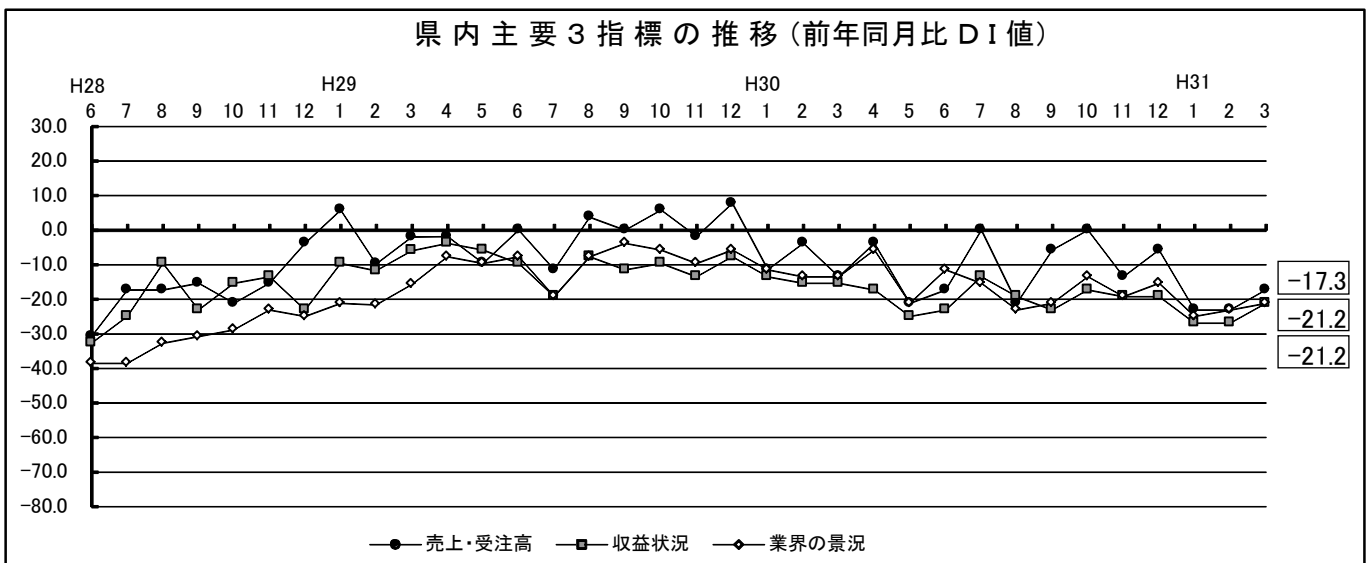
中小企業団体情報連絡員報告結果(平成31年3月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員5名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 3月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「売上高」「収益状況」「業界の景況」の3指標が上昇し、「販売価格」「取引条件」「資金繰り」「雇用人員」の4指標が下降した。
- 主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも前月より上昇し、それぞれ-17.3ポイント、-21.2ポイント、-21.2ポイントであった。
- 3月は「売上高」「収益状況」「業界の景況」の主要3指標が好転し、暖冬による好影響を窺えた業種がある一方、一部の業種では各指標の著しい悪化がみられるなど、業種により景況感に違いが生じている。新年度への切り替えや新天皇即位に伴う大型連休に期待する声があるものの、慢性化する人手不足・後継者不在や経営コストの上昇等の不安が依然として存在し、先行き不透明感が漂っている。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-17.3	+5.8	-16.4	-2.4
収益状況	-21.2	+5.7	-21.8	±0.0
業界の景況	-21.2	+1.9	-23.5	+0.8

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より5.8ポイント上昇し、-17.3ポイントとなった。全国においては、前月より2.4ポイント下降し-16.4ポイントとなった。

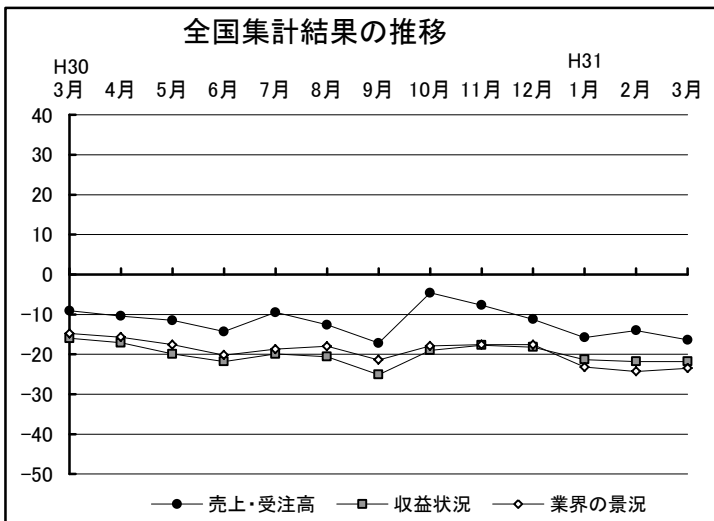
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より5.7ポイント上昇し、-21.2ポイントとなった。全国においては、前月と変わらず、-21.8ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より1.9ポイント上昇し、-21.2ポイントとなった。全国においては、前月より0.8ポイント上昇し-23.5ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

3月の前年同月比D I値は、前月の前年同月比D I値と比べ、9指標中「売上高」「収益状況」「業界の景況」の3指標が上昇し、「販売価格」「取引条件」「資金繰り」「雇用人員」の4指標が下降した。

主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも前月より上昇し、それぞれ-17.3ポイント、-21.2ポイント、-21.2ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中3業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中4業種が上昇、1業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中3業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が上昇、2業種が下降した。「業界の景況」は製造業で7業種中1業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が上昇、1業種が下降した。

3月は「売上高」「収益状況」「業界の景況」の主要3指標が好転し、暖冬による好影響を窺えた業種がある一方、一部の業種では各指標の著しい悪化がみられるなど、業種により景況感に違いが生じている。新年度への切り替えや新天皇即位に伴う大型連休に期待する声があるものの、慢性化する人手不足・後継者不在や経営コストの上昇等の不安が依然として存在し、先行き不透明感が漂っている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	×	△	△	△	×
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	△	×	△	△	△	×	△	×	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	×	△	△	×	△	△	△	×
一般機器	×	△	△	△	×	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-75.0	0.0	25.0	-25.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	-75.0
繊維・同製品	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	-25.0	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-50.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	-50.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0
一般機器	-50.0	25.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
製造業	-20.0	-16.0	-4.0	-8.0	-24.0	-12.0	-8.0	-8.0	-32.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	-33.3	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-28.6	-28.6	14.3	-28.6	-42.9	-28.6		14.3	-42.9
サービス業	-16.7		0.0	-16.7	-33.3	-16.7		-16.7	0.0
建設業	0.0		-20.0	-20.0	0.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-14.8	-20.0	0.0	-18.5	-18.5	-11.1		0.0	-11.1
全体	-17.3	-17.1	-1.9	-13.5	-21.2	-11.5	-8.0	-3.8	-21.2

図表3～【指標別DI値の推移】

	30年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	前月 比
売上高	-13.5	-3.8	-21.2	-17.3	0.0	-21.2	-5.8	0.0	-13.5	-5.8	-23.1	-23.1	-17.3	5.8
在庫数量	-14.3	-14.3	-14.3	-11.4	-2.9	-11.4	-2.9	-17.1	-5.7	-17.1	-8.6	-17.1	-17.1	0.0
販売価格	5.8	3.8	9.6	11.5	11.5	7.7	3.8	3.8	9.6	7.7	0.0	1.9	-1.9	-3.8
取引条件	-3.8	-3.8	-5.8	-3.8	-3.8	-3.8	-3.8	-5.8	-11.5	-9.6	-15.4	-11.5	-13.5	-2.0
収益状況	-15.4	-17.3	-25.0	-23.1	-13.5	-19.2	-23.1	-17.3	-19.2	-19.2	-26.9	-26.9	-21.2	5.7
資金繰り	-9.6	-9.6	-15.4	-9.6	-5.8	-11.5	-11.5	-9.6	-9.6	-15.4	-15.4	-9.6	-11.5	-1.9
設備操業度	-4.0	-8.0	-12.0	-12.0	-4.0	-12.0	-12.0	0.0	4.0	4.0	-16.0	-8.0	-8.0	0.0
雇用人員	-5.8	1.9	0.0	-1.9	-5.8	-7.7	1.9	-3.8	-1.9	-5.8	0.0	0.0	-3.8	-3.8
業界の景況	-13.5	-5.8	-21.2	-11.5	-15.4	-23.1	-21.2	-13.5	-19.2	-15.4	-25.0	-23.1	-21.2	1.9

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	50.0
木材・木製品	-75.0	-25.0	-75.0	0.0	-25.0	-50.0	-75.0	-50.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	50.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	8.0	-4.0	-8.0	4.0	12.0	-4.0	0.0	-8.0	-4.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	-33.3	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	14.3	14.3	14.3	0.0	-14.3	0.0		14.3	14.2
サービス業	16.6		0.0	-16.7	16.7	-16.7		-33.4	33.3
建設業	20.0		-20.0	-20.0	20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	-75.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		25.0	0.0
その他	50.0		0.0	50.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	3.7		10.0	0.0	-7.4	0.0		-3.7	0.0
全体	5.8	0.0	-3.8	-2.0	5.7	-1.9	0.0	-3.8	1.9

特記事項

情報連絡員報告（平成31年3月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	昨年はDCキャンペーンがあり、業界は観光客の増加や他県へのイベントなどで盛り上がったが、その反動の影響が多少みられた。また、原材料の値上げなど今後が心配である。
縫製業	4月末の連休販売商品の注文が多く、昨年より注文数量は増えている。ただ、毎年連休中は天候に左右され、雨が多いとショッピングが増え、晴れると行楽地に人が流れる。10連休で衣料品が売れて夏物商品に勢いがつくように願っている。
染色整理業	大きい変化は特にないが、全体的に低位である。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	今月も業界内の動きは鈍いが、昨年同月に比べれば、数字上は上回っている状況である。但し、勝ち組、負け組の区分けがはっきりし始めており、繊維業界の厳しい状況を実感している。令和の時代になって新たな流れ、雰囲気になることが待ち遠しい。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。また、組合員数も減少している。
石灰製造業	鉄鋼関係がスポットで増加したが、建材土質関係で4月以降にずれ込んだため減少している。肥料関係は若干増加傾向であった。全体ではいい方向に進んでいるが、大幅改善とまではいっていない。
陶磁器製造業	4/27（土）～5/6（月）まで春の陶器市があり、期待したい。
金属製品製造業	家電関係に若干の増加、秋の消費税増税を見据えた駆け込み需要を見込んで、例年より早めに生産を始めているようである。
金属製品製造業	自動車部品関連、機械設備関連、プレス金型関連いずれも低下（売上低下・人件費増加・人手不足）の状況。
一般機械器具製造業	前月同様、売上高については全体として減少傾向が継続している。一部の組合員では改善の動きもでてきているが、収益状況の悪化懸念はあるものの新年度に期待したいといったところである。他はほぼ不変という結果となっており、今後の受注増加に期待したい。なお、人手不足は継続中である。
一般機械器具製造業	通常3月は決算対策等で受注増が見込めるが、本年はさっぱりの様子。業界問わず、ほとんどの所が景況感を感じられないようで、皆さん四苦八苦の日々を過ごしている。一時の景況回復感はどこへ行ってしまったのか。
各種商品卸売業	例年開催している団地内の新入社員を対象とした研修会の過去5年間の受講者数をみると、平成26年度22名、27年度23名、28年度24名、29年度16名、30年度13名、本年度は16名であった。29年度より減少傾向に転じ、計画のとおり新卒者を確保することができなかったとする企業が多かった。
食肉小売業	3月後半から気温が上がり、人の動きが活発になってきたので、商品の売れ行きも若干良くなってきている。
各種商品小売業	3月期も大変厳しい月だった。一向に景気の回復が見られず、大型店共に売上高を伸ばすことができない状況である。

各種商品小売業	全体として売上高は前年を超えることができたが、客数に関しては依然として厳しい状況が続いている。特に、半期に一度のお客様特別招待会においても、集客の鈍さが目立った。安さではEC市場に勝るはずもなく、“価格面以外での差別化”と言われて久しいところではあるが、まだまだ道半ばであるということを改めて突きつけられた形となった。
花・植木小売業	年明けからの暖冬傾向の影響から花の開花が進み、初旬は前年を上回る入荷が続いたが、お彼岸仕入ピークを前にして菊類等に品薄が続き、卒業、送別需要などで洋花の引き合いも強くなったため、単価高での市況推移となった。彼岸が明けてからも年度末需要で洋花を中心に引き合いが強く、全体では前年比で15%ほどの入荷減となり、10～15%の単価高での市況推移となった。
理容業	高齢で後継者がいなく、やむをえず廃業する組合員が後をたたない。対応策も難しく、今後の大きな課題となっている。
自動車整備業	設備操業度上昇により、売上単価は減少しているものの、売上高が増加した。リース車両の増加が要因として挙げられる。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関しては3月は高稼働な日とそうでない日が極端だった。2月中旬から3月中旬までの稼働率が例年よりも低く推移した。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。宴会に関して、ここ数年のトレンド通り同件数の受注はあるが、バレンタインデーからホワイトデーの期間がここ数年非常によくない。飲食店利用に関しては、順調に繁忙期を迎え、後半からは寒さも和らいではきたが、客足は鈍ったままであった。これからは歓送迎会の時期なのでそこに期待している。
ビルメンテナンス業	倉庫内作業請負の事業高が前年比で大幅に減少し、収益状況が悪化した。ビルメンテナンスその他の業務は若干だが前年比で増加した。
給食センター	給食業界は、食材費高騰、人手不足と大変苦しい環境の中、働き方改革に着手する必要もあり、業界として事業存続が危機的状況である。従来のような低価格・過剰サービスは難しく、価格単価交渉、仕事の見直しが必須であると感じる。
内装工事業	組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは19%減、敷物用ラベルは2%増、壁装用ラベルは9%減であった。年間累計では、カーテン用ラベルは減、敷物用ラベルは微増、壁装用ラベルは微減であった。30年度の当業界の景況感としては、カーテンが減少したものの、全体としては特に変動はなかった。
一般貨物自動車運送業	多くの企業で決算期を迎える中、受注量は増加傾向にあり取引条件も好転した企業が見受けられた。反面、燃料価格が上昇傾向にあり、経費の増加、ドライバー不足が慢性化等厳しい景況である。
貨物軽自動車運送業	昨年と比べると、スポット・チャーターともに減少する結果となり、正直驚いている。年度末・決算期ということもあり例年通りかと思えば、問い合わせは引越しが70%を超え、一部のマスコミの影響もあり、引越受注が殺到した。大手運送会社、他県の赤帽本部にも聞いてみたが、例年の3月とは違かったという回答が多かった。
一般貨物自動車運送業	震災の影響で、輸送の減少がでている。
一般乗用旅客自動車運送業	特定地域による、供給輸送か削減及び活性化の結果なのか、景気が上がっているのか不明だが、台当たり平均値が若干(≒3%弱)あがっている状況。
大谷石採石業	前年同月比でほぼ同じ(微増)で推移した。販石の施工工事が少し増加したようである。